キャラクター名: 湊元ミウ

プレイヤー名:

シンドローム	ノイマン ノイマン	ワークス	UGN支部長B	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	16	性別	女
覚醒	犠牲	衝動	自傷	初期侵食率	34 %
出自	天涯孤独	経験	平凡への憧れ	邂逅	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	0	1			1
感覚	0	1	0			1
精神	6	0	2			8
社会	2	0	0			2

HP	30
行動値	10
(非装備時)	10
戦闘移動	15
全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		ＲＣ			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：ピアノ			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ターゲット捕捉射出します	射撃	8r+5		61		スキルフォーカス、コントロールソート、マルチウェポン、ヴァリアブルウェポン、コンセントレイト：ノイマン
		0				侵蝕値12
蜂の巣にします	射撃	8r+7		61		スキルフォーカス、コントロールソート、マルチウェポン、ヴァリアブルウェポン、コンセントレイト：ノイマン、範囲予測
		0				侵蝕値14

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
ブラックマーケット	
ウェポンケース	
ボルトアクションライフル	
アサルトライフル	
サブマシンガン	
コネ：手配師	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
超血統（フルブラッド）	P	N		
UGNの人たち	P 尊敬	N 恐怖		
アルフレッド・J・コードウェル	P イケオジ	N だれ		
死に別れの家族	P 遺志	N 悔悟		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6	残り財産P： 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
ブラックマーケット	5	-	常時					
効果：	常備化P Lv*10							
生き字引	1	1	メジャー			意志		
効果：	情報収集判定を意志で代用　ダイス+Lv							
零距離射撃	1	2	メジャー	至近		射撃		
効果：	射撃攻撃ダイス+Lv 同エン不可武器使用可能							
コントロールソート	1	2	メジャー			白兵/射撃		
効果：	精神で代用判定							
マルチウェポン	7	3	メジャー			白兵/射撃		
効果：	攻撃力を二つの装備している武器の合計達成値-[5-Lv]							
ヴァリアブルウェポン	5	3	メジャー			白兵/射撃	リミット	
効果：	所持しているLv個の武器の攻撃力を合計							
コンセントレイト：ノイマン	2	2	メジャー			シンドローム		
効果：	C値-Lv							
常勝の天才	7	6	セット		シーン（選択）		ピュア	
効果：	対象の攻撃力+Lv*4 1シーン1回							
代謝制御	★					（意識）		
効果：	「僕は頑張るから」							
写真記憶	★					（知覚）		
効果：	「全部、全部忘れない」							
効果：								
効果：								
効果：								

事故で家族が全員死んでしまった
なぜ自分だけが生き残ってしまったのだろう
そんな考えを持ってもう10年経ったんだね
引き取ってくれたUGNのために頑張るよ
けれどお姉ちゃんは虫も怖くて殺せない子供だったよね
夜お手洗いに一人で行けなくて一緒についてもらってたね
戦いたくないなぁ
武器なんて怖いよ持ちたくない
でも、そんなわがままは生き残った私には許されないのわかってるよ
だからせめて毎日任務の前に怖くて泣いてるのは許してね
お姉ちゃんの秘密誰にも言わないでね

昔は感情豊かなどこにでもいる少女だった
家族の事故をきっかけにあまり表に感情を出さないようになった
機械的に物事に取り組むようになった

HO2　ロイス:死に別れの家族(P遺志/N懐旧)
ワークス:UGNチルドレン　カヴァー:高校生
君は孤児としてUGNに引き取られたUGNチルドレンだ。君には10年前に事故で死に別れた両親と妹の家族がいた。何故自分だけが助かったのだろうかと思うこともある。日常を守る戦いは、君にとっての贖罪なのかもしれない。今日も君は招集を受けてUGN G市支部へと向かった。